

湘南講學會規約



湘南講學會規約

第一章 宗旨  
第二章 組織  
第三章 經費  
第四章 附則

湖南講學會規約

湖南講學會規約

第一條 總則

第一節 本會ノ目的ハ自由ノ真理ヲ闡キ人權ノ  
通義ヲ暢フルニ在リ

第二節 本會ハ此目的ヲ達スルタメ英米ノ書ニ憑  
テ四科ノ學即チ歴史<sup>ヒストリ</sup>政治<sup>ポリティクス</sup>經濟<sup>エコノミクス</sup>法律學ノ大要ヲ  
講明スルヲ以テ其常業ト為ス

第三節 本會ニ於テ講明スル所ノ學科ハ專ラ此  
四科ニ在リト虽モ旁ラ又タ之ヲ兼ルモ性理學<sup>ソフィスティクス</sup>社



會學道義學及論理學、四科ヲ以テス

第四節 本會講學ノ地ハ當分相模國大住郡  
伊勢原村ヲ以テ定所トス

第五節 本會ハ湘南講學會ト名ク可シ

第六節 本會ハ講頭一員幹事一員ヲ置ク可シ

第七節 講頭ハ總會員ノ商議ヲ以テ撰定セラル、  
若タル可シ

第八節 幹事ハ總會員ノ投票ヲ以テ撰定セラル、  
モノタル可シ

第九節 講頭ハ専ラ講書ノ業務ニ任シ幹事ハ都テ

本會ノ行為ヲ負擔ス 但行為ハ會員ノ進退及會費計美  
ノ事其他凡百ノ所為ヲ云フ

第十節 講頭幹事兩員ノ任期ハ滿ニケ年間トス

第十一節 本會規約ノ條則ヲ變更若クハ増減スルハ

總會員三分ニ以上ノ全意ヲ表スルニ非レハ漫リ改メ  
易フルヲ得可ラス

## 第二條 講書定則

第十二節 本會講書ノ順序ハ每章句原語ヲ以テ誦  
讀一遍ヲ了シ直ニ又譯讀シ以テ之ヲ解釋シ其意  
義ヲ喻述ス

第十三節 講書時間ハ毎日 日曜日  
除ク 午前第十時ヨリ第



十二時迄ヲ前一回トシ午後第一時ヨリ第三時マテ  
ヲ後一回トス

但毎水土兩曜日ニ於テハ午前第十時ヨリ第十二時マテ原書  
輪講ノ時間トシ午後第一時ヨリ第三時マテ譯書輪講

ノ時間トス

#### 第十四節 左ノ如ク日講ノ課程ヲ定ム

- |      |    |           |
|------|----|-----------|
| 一月曜日 | 午前 | 歴史学若クハ性理学 |
| 一火曜日 | 午後 | 政治学若クハ道義学 |
| 一水曜日 | 全  | 経済学若クハ社会学 |
| 一木曜日 | 全  | 法学若クハ論理学  |
|      | 全  | 原書輪講      |
|      | 全  | 訳書輪講      |
|      | 全  | 歴史学若クハ性理学 |
|      | 全  | 政治学若クハ道義学 |

- |      |   |           |
|------|---|-----------|
| 一金曜日 | 全 | 経済学若クハ社会学 |
| 一土曜日 | 全 | 法学若クハ論理学  |
|      | 全 | 原書輪講      |
|      | 全 | 訳書輪講      |

第十五節 本會講學ノ順序ハ専ラ英米ノ原書ニ  
憑テ前ニ示ス八科ノ學ヲ講明スルニ在リト虽モ亦譯書  
ニ憑テ之ヲ講究スルヲアル可シ

但譯書ハ英米ノ書ニ限ラス佛蘭西若クハ独逸書ノ翻譯  
成リタルモノヲ用エルヲアルヘシ

第十六節 毎水土兩曜日ハ午前ニ於テハ總會員ヲシテ  
原書ノ輪講ヲ為サシメ午後ニ於テハ譯書ノ輪講ヲ為サ  
シメ講頭ハ之ヲ判定ス可シ



第十七節 講頭ハ毎月初ニ於テ一二ノ論題ヲ總會員ニ示シ第三日曜日ニ至テ午前第十時ヨリ第十二時マテ討論會ヲ開ク可シ

第十八節 本會々員中其既ニ晩年ニ及ヒシ者若クハ壯年ト虽モ世業繁忙ニシテ専ラ原書ヲ讀ム暇アラサル者ハ講議手録或ハ翻譯書等ニ憑テ前ニ示ハル學要ヲ知解セシムヘシ

### 第三條 入會定則

第十九節 本會ノ目的ト其意志ヲ同フスル者ハ何人ハ拘ラス皆會員タルヲ得可シ

第二十節 會員タラント欲スル者ハ先ツ本會幹事ニ其志ヲ陳ヘテ幹事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一節 會員タルモノハ毎月初三日迄ニ會費金ヲ本會幹事ニ納入ス可シ

但有志ノ士ニシテ學費ニ乏シキモノハ其旨ヲ幹事ニ通シ適宜ノ會費ヲ納入スルヲ得

第二十二節 會員タル者故ナクシテ日講ノ關席滿ニケ月ミ迄フ者ハ講頭之ヲ幹事ニ告テ其怠惰ヲ詰責セシムル、後十日間ヲ經テ尚出席セサル時ハ幹事之ヲ除名ス第廿三節 會員タル者故ナクシテ會費金ノ納入ヲ怠リ



滿三ヶ月に至る者ハ幹事ヨリ之ヲ催徴スル尚納入ヲ為  
サル時ハ幹事之ヲ除名ス

但若シ非常ノ災厄等ニ罹リ不得止費金納入ヲ為シ難キモノハ  
特別ノ處分ヲ以テ猶豫スルヲアルヘシ

第廿四節 會員タル者若シ本會々員ヲ免レント欲ス  
レハ其事由ヲ本會幹事ニ陳ヘテ認許ヲ受ク可シ

#### 第四條 會員ノ權限

第廿五節 講頭ハ講學上ノ規則ヲ定メ及ヒ本會備  
用ノ書籍購入ヲ須要スルノ權ヲ有ス

第廿六節 幹事ハ本會ノ行為ニ関スル凡百ノ規則ヲ定

メ及ヒ定額ノ會費金若クハ臨時要用ノ會費金等  
ヲ徵收スルノ權ヲ有ス

第廿七節 講頭幹事ノ兩員ハ毎月定額ノ給料ヲ  
附セラル、者トス

第廿八節 總テ會員タル者ハ本會ノ規約條則ニ即テ  
其意見ヲ陳ヘ若クハ其變更増減ヲ為スルノ發議ヲ  
得ルモノトス

第廿九節 講頭幹事ノ兩員ハ毎月、會費金ヲ  
納入セサルモノトス



追加附條

一前第十三節及第十六節第十七節記載スル如ク  
日講課程及輪講討論ノ時間ヲ定ムト雖モ  
便宜ニ由テ之ヲ變換スルヲアルベシ

上杉み村

山口左七郎



中原上岩

磯部鐵太郎



三好み村

山口書輔



澤田彌

下糖屋村

平賀喜代玄



三村

河村清吉





高森村

高田愛治



串橋村

森藤竹治



保國恒



伊勢原

山田伊兵衛



日

辰野明直



南金目村

宮田寅治



寺坂村

山田谷太郎

伊勢原村

加藤宗兵衛



大山所

下山真澄



東田西邑

小林正昌



子島村

豊島義忠



三宅村

三宅隆安治





石田村

石井 弟之助



上之村

田口 昌勝



日向村

三浦 知二



下白村

清田 權助



西富岡村

竹尾 俊孝



下羽屋村

清水 義弘



上羽屋村

小林 栄



石田村

石井 格仙



高尾村

寺尾 初吉



日向村

寺屋 豊藏



二之宮村

伊達 時



大磯驛

中川 良知





小嶺村

福井直吉

中里村

水島保太郎

馬入村

杉山恭助

下谷村

亀井左郎

沼目村

明治廿五年一月三日迄會

石井深吉

子易村

飯田庄司

南金目村

猪俣道之輔

愛甲郡三田村

井上篤太郎

南生名村

前田久治

白旗五郎月子子子子子

北矢名村

今井国三郎

西富岡村

堀江喜三郎

善波村

飯塚新太郎

串橋村

齋藤兼治

片岡村

大澤市左衛門

伊勢原

貞藤孫右衛門

全

江口武勇

串藩村

小村安五郎

西富岡村

大庭平藏

上相屋村


愛甲郡妻田村

川井房五郎


堀川九兵衛




愛甲郡小野村

三橋徳太郎 


矢名村

小早川谷三郎 


三三宅村

石井寛太郎 

陶綾郡国府本郷村

近藤市太郎 

全郡口村

儀三郎 

全郡生澤村

二宮良太郎 


全郡口村

貞節 


全郡奇坂村

鈴木房五郎 

全郡山下村

近藤康吉 


全郡万田村

出縄善太郎 

全郡高着村

伊東尚綱

全郡生村

曾根田重保 

全郡生村

高藤知桓

全郡大磯驛

朝倉敬之

全郡日驛

舟橋周藏

全郡日驛

小泉良圭

全郡日驛

宮代謙吉

全郡日驛

新太郎

全郡国府本郡

山口兵太郎

全郡日驛

伊勢田廣造

全郡三宮村

寺田由太郎

全郡山西村

戸田忠徳

全郡日村

長峰浅吉

全郡川白村

二見兵之助

全郡中里村

高橋新太郎

全郡廣川村

池田敏太郎



全 郡 平 陽 驛

志 村 棟 作

全 郡 經 村

小 澤 宗 大 郎

陶 綾 郡 三 宮 村

松 本 末 大 郎

全 郡 歌 富 村

松 本 鉦 七 郎

全 郡 生 村

日 唯 次 郎

大 佐 郡 下 稻 尾 村

溝 呂 小 田 子 大 郎

